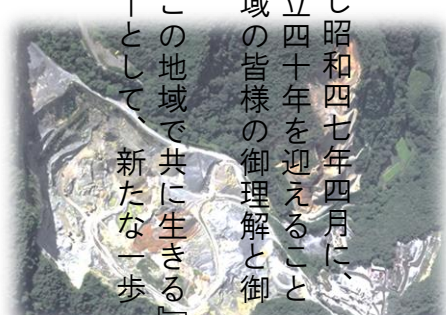




新年度にあたり

弊社は、二戸市が誕生した日と同じ昭和四十七年四月に、創立いたしました。以来、本年で創立四十年を迎えることが出来ました。これもひとえに、地域の皆様の御理解と御支援の賜と心より感謝申し上げます。

これからも創立の理念である、『この地域で共に生きる』ことを根本に、皆様の良きパートナーとして、新たな一歩を歩んでいきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。



燃料続騰

～運送業の視点で～

燃料価格が下がりません。燃料価格は製造原価はもちろんですが、運賃原価に大きく影響します。現状の運賃設定では、軽油価格が¥100/ℓを超えると、黄色信号、¥120/ℓを超えると赤信号です。現状の軽油価格はなだらかで大きな山に登っているイメージです。ゆっくりですが上りだけなので、後ろを振り返ると随分高い所まで来たように感じます。厄介なのは下り坂が見えないことです。もしかしたら長い高原道路かもしれません。企業維持の為にいろいろな努力をしますが、燃料価格の高止まり？は努力を帳消しにしてしまうものです。売り上げにしめる許容燃料費率を40%、燃料消費量を130ℓ/日とすると、燃料価格が¥10/ℓ上昇するごとに一台当たり¥3,250/日のコストアップとなります。これはゆゆしき問題です。まずは皆様方のご理解をお願いいたします。



猛威



3月は、風邪で4人がダウン。15人のうち4人なので4人に1人の罹患率である。順番に誰かが休んでいる状態である。運送にも数名の欠勤者が出て、年度末の需要期中、人のやりくりにも四苦八苦であった。風邪ひきのリスクも想定内としておかなければと思う次第。

雪花を

愛でる3月

春恋し。



春は『三寒四温』という。しかし、今年の春は一進一退で溶けたと思えば、また降るといふ繰り返し。なかなか春へ前進しない。3月25日の朝、前日の雪で桜の木が綿帽子をかぶり、朝日に映えて満開の桜と見間違えばかりの美しさであった。それでもやっぱり春は待ち遠しい。

名のあるモノ

事務所の正面にある橋を『鎌倉橋』という。橋にも瀬戸内をつなぐ大きな橋や、ひょいと飛び越えられそうなせせらぎに架かる小さな橋までさまざまである。小さな橋には名前のないものもある。

先日、鎌倉橋のたもとに橋名看板が設置された。気をつけてみると次の橋にも、その次の橋にもある。事務所から4号線に出るまでの1.1kmの間に9つの橋がある。4つ目より先の橋名はわからない。わからなくても支障はない。しかし、あらためて看板が立つと、そうだ橋にも固有の名称があったんだと思う。普段は馬仙峡の所の橋とか御辺地の橋とかという風に認識していて、名前なんぞはどうでもよい。しかし、名前が付くとその橋自体がランドマークとなる。砕石事務所へお越しの際は鎌倉橋の看板を目印にお越しください。ちなみに街灯もナトリウム灯からLED灯になった。さりげなく進化しているのである。



～有価物と無価物～

建設工事には、多かれ少なかれほぐした土砂が発生する。筆者なりに解釈すると『建設発生土』とは、建設現場において発生した土砂。そのうち現場内で利用できず不要となった物を『建設残土』という。こんな感じであろうか。ここで疑問が残るのは、不要なものとは『有価物』なのか、『無価物』なのかということだ。一般的に言って不要物＝価値のない物となるだろうが、不要とか価値がないと判断するのは多分に主観的であり、かつ環境に左右されやすい。さらに技術の進歩は、『昨日のゴミは明日の資源』というような判断基準の変革をもたらしてしまう。

法律や標準などは基本的に縦割であるので、要、不要が人によって、日によって変わる可能性が大きい物は適用が玉虫色になりやすいのではないだろうか。建設発生土はそんな意味でとってもなやましい存在である。適法に処理することは重要である。

しかし、法の曖昧さに対しては、良心で対応せざるを得ないこともある。それでも現場は動いているのだから。

編集後記

新年度も始まりました。当社の年間カレンダーが出来ましたので送らせていただきます。当社の基本はお客様！土曜日、祭日は営業いたしておりますのでご心配なく！さて、ここで宣伝(笑) 新年度と共に石材部では展示会も始まりました。フクタニュースご覧の方々へ情報！石材部担当に畑山というセールスがあります。『フクタニュース』という・・・絶対サービス有りです！心を込めてご先祖様のお墓を御作りいたします。この土地で変わらないアフターもお約束します。お待ちしております！！